

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名	通常砂防事業		路河川名等	(砂)高遠入沢							
事業毎の通番	4	市町村名	飯島町	箇所名(ふりがな)	高遠原(たかとおぼら)						
事業概要	事業目的	本溪流は土石流危険溪流であり、想定氾濫区域には人家10戸のほか、重要交通幹線である中央自動車道と主要地方道飯島飯田線が存在する。昭和58年9月の台風10号により土石流が発生し、一部人家が被災している。現在も上流域には不安定な土砂が堆積しており、土石流の発生の恐れが高いため、砂防堰堤1基を設置する。									
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	4-1 県土の強化(災害に強いインフラ整備)	事業実施の根拠法令等	砂防法							
	関連する事業、計画等	なし									
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	人家10戸、高速自動車道65m、県道262m、町道977m、橋梁1基									
	着手年度	平成30年度	事業期間	9年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)					
完成年度(見込み)	平成38年度	費用対効果	2.0	国庫	250,000	其他	225,000	県債	25,000	一般財源	
全体事業内容(主な工種)	砂防堰堤工 2基			500,000	250,000		225,000	25,000			
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	人家10戸、高速自動車道、県道、町道の保全									
	間接的効果(定量的・定性的)	重要交通の安全を確保することで、住民生活を保全する 土砂災害特別警戒区域の指定が解除される。									
評価の視点	必要性	○保全対象人家：10戸 ○保全対象施設：道路2路線 ○要配慮者利用施設：なし ○避難場所、避難路：避難路								評価	A
		重要性	○災害履歴：S58.9の台風10号 ○交通遮断による地域経済への影響：あり(中央自動車道) ○地域防災計画への位置づけ：あり								評価
	効率性		○費用対効果(B/C)：2.04 ○事業期間：9年間 ○工法の検討：実施予定あり ○流域の総合調整：未調整								評価
		緊急性	○流域の地形、地質：地質が脆弱 ○平均渓床勾配：9° ○土砂整備率：0% ○土砂災害防止法の指定：特別警戒区域								評価
	計画熟度		○事業情報の共有：今後周知予定 ○地域の取り組み：町からの要望あり ○地域の合意形成：今後形成見込み ○住民との協働：自主防災組織あり								評価
		所管課意見	当該溪流の保全対象には重要な交通幹線である中央自動車道と主要地方道があるため、速やかな土砂災害対策が必要である。							採択状況	○
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。										

事業概要説明図表			
事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本溪流は土石流危険溪流であり、想定氾濫区域には人家10戸のほか、重要交通幹線である中央自動車道と主要地方道飯島飯田線が存在する。昭和58年9月の台風15号により土石流が発生し、一部人家が被災している。現在も上流域には不安定な土砂が堆積しており、土石流の発生の恐れが高い。	
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり		
	③事業説明等の経緯		
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連		
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	詳細設計時に検討予定	
	⑥地域活性化への影響と配慮	施設整備による特別警戒区域の解除により、付近の土地利用の活性化が期待される。	
	⑦その他	なし	事業代表地点の緯度経度